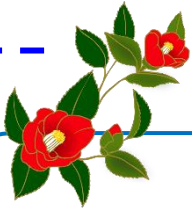


会員の声



私の名水

堀田 實

名水探訪最終回の講話の最後のフレーズ「名水はおいしさや体に良い事と言うイマヅですが、本来は名高い水と言う意味で飲用に特化する事無く保全を…」松村講師の上水道の普及と公衆衛生を担う公吏の立場も了とする。

名水の有名スポットでは、幾組も大きなポリタンクを持って順番待ち「この水は安価な茶葉でもおいしくなるとか、病気が治ったとか、認知症予防になる。」など風聞流説と思うことまで深く信じ、車の座席まで積み込んだポリタンクや伸びきったスプリングが熱く語ってくる。

私は秘かに同級生が彫ってくれた念持仏を持っている。困った時の信心で、お供えは元旦以外はお水だけ、その塩素消毒したお水を明王様はどんな思いをして飲まれているか時々考えることがある。今度、近くの湧水の生水を汲んできてお供えをし、そのお下がりをお風呂に混ぜて入ったら「清々しく、健やかに長生きした」と名水に育つまで、皆にこっそりと言いつけよう。

私と「富山の名水を守る会」

宇野 勝治

富山を終の棲家と考え出した頃、県民カレッジで「富山の名水を守る会」を知り、直ぐ入会しました。今から十年余り前のことです。以来、昨年秋まで富山と福井の二重生活だったので、参加率の悪い不良会員でした。最初は懸命に都合をつけて参加していましたが、段々「地」が出て、このところ年に1・2度の参加という有様です。それでも、会員の皆様には優しくして頂き、現在に至っております。

さて、富山は全国でも有数の名水の地です。富士山の名水・鳥海山の名水などに勝るとも劣りません。勿論私も名水を愛飲しています。いたち川沿いの延命地藏の名水を週一でボトルに頂いて、お茶・コーヒー・ご飯にと毎日戴いています。名水巡りは、富山の地理も私に教えてくれ、随分富山の名所通になりました。これからも行事に数多く参加し、多くを知りたいと思います。この会がますます発展することを祈っております。

富山の名水を守る会に入会するに

三浦 裕吉

息子に会社を継がせて何もしないとボケますよと家内が忠告するもので、自遊塾の名水探訪に参加しました。ポンプの卸業を50年間一筋でやってきたので、水には関心があり、チャンスがある毎に富山の水を自慢してきました。この会で各地の名水を訪ねたことは、今更ながら研修させてもらったと感謝しています。

食料の自給率38%の日本、世界事情の悪化で環境問題が叫ばれており、子供らに残すにはどうすればいいのか講演会でよく聞くのですが、自分は何ができるのかわかりません。水を守るというテーマは、多数の参加がないと実践できませんが、水は生命の源です。陰徳する身分ではありませんが、楽しい会になるように何かできないか勉強させてください。



8月5日 富山市南部方面名水探訪



9月16日 立山方面名水探訪